

点野野草地区における活動

淀川管内河川レンジャーアドバイザー
上田 豪

1. 淀川の歴史と自然 見学学習会

- ・茨田(まった)樋門跡
- ・点野(しめの)舟着き場
- ・点野わんど/砂州

点野船着場
30石舟・外輪船など舟運 と 防災活用の説明



茨田樋跡
利水・堤防移設・地域の生活等の説明



百間は一見にしかず



ポイント4. 点野わんど 手前はウォーターレタス

点野わんどその1・植物・魚など自然と外来種等の説明



点野わんどその2 わんどの成り立ちと淀川の変遷の説明
 徳南大学澤井先生



点野付近淀川の新旧の写真による変遷の説明
 水制・わんど・改修工事



30石船 と くらわんか舟



■明治以後在来の川船に代わり客船として栄えた蒸気船〔外輪船〕
 (明治初期)

淀川を行く外輪船

出航前・手前は三枚板舟(田舟)





2. わんど清掃
(含む特定外来植物除去)

・クリーン作戦・外来植物除去

自然の中で体を動かしませんか？
10分でもOK!

点野砂州外来種除去・清掃
必要な道具（ワンド、草刈、草子など）やお茶は用意します。
淀川の自然を回復し、近づきすぎる水辺を創る活動です
作業に慣れた経験、スキルなどがあれば身軽一つで
参加して頂きます。13時～16時の間で各自の都合に
合わせて、参加時間は自由です。

●日時 6月16日(日)
13時30分～16時(10分でも可) 外来種除去
高砂町・長瀬駅前通・高砂川(アソビ・フロン) 手取

●場所 点野砂州
(点野船着き場と点野ワンドの間の砂州)
外来種の引き抜きや刈り取り、草からあつた
草花を回収させる取り組みです。
自然豊かで、憩い、遊べる水辺空間をつくりたい。

ボランティアで何かしませんか？
淀川砂州の自然を回復する活動です。
●参加費 0円。車、靴、帽子、作業服は持ちます。
●申し込み 淀川砂州の自然を回復する活動の申し込みは、高砂市環境課(072-961-5961)までお電話ください。
●お問い合わせ 高砂市環境課(072-961-5961)までお電話ください。





こんな在来種が生えてきました



市民活動も活発ですが、ごみも強烈です

冷蔵庫はここに捨てられたのではなく、浜に流れ着いたものです



**3. 子どもが安全に遊び
学べる発信拠点づくり**

【ねらい】
 外来植物除去・ごみ掃除による
 砂浜復活・多様な植物群・樹林活用・沈床を明らかに



セイヨウカラシナは背丈以上になります



4. 「発信拠点」で実施する 淀川まるごと体験会

日常、接することがなくなった「水辺との付き合い」
を、実際に体験・体感してもらう

ここで自然・遊び・文化を体感します



この緑陰が子ども達が淀川で遊び・学ぶ“発信拠点”です







こんな大型バスも・点野わんど



**5. 市民工事による自然の復元と
地域に埋もれた川の文化の掘り起こし**

・ 茨田樋遺跡水辺公園

市民工事による 自然の復元と、
地域に埋もれた川の文化の掘り起こし

茨田樋遺跡水辺公園

市民工事の内訳

- 平成16年度：ワークショップを5回、復元整備計画案を策定。
- 平成17年度～18年度：復元整備工事を施工。
- 残存施設： 樋廃止記念石碑、門型分水樋門石組、石積レンガ積流入渠
- 市工事： 樋管モニュメント・レンガ舗装・水辺階段、一部護岸補修、水路敷真砂土舗装・枕木舗装、基盤整形など。
- 市民工事： 丸木橋二架、杉丸太半割りベンチ4脚、川石配置、樋門スライドゲート、木製階段、新たな石積護岸、石張り舗装、護岸天端石張り、松丸太土留護岸、樹木・水辺の植物植え付説明看板、銘板、などの作製・設置、
- ※市民の手づくり工事には、市が支給した原材料の他、淀川三川源流部の桂川(日吉) 宇治川(琵琶湖畔比良山系) 木津川(名張)及び壱岐川源流部で市民が間伐作業などで材木や川石を調達、し製作・設置しました。

内訳 市400万(工事、原材料)、市民600万(スーパー堤防スロープ、階段3000)

第3弾「茨田(まった)の樋遺跡公園」づくり

工事前

茨田の樋跡

ワークには

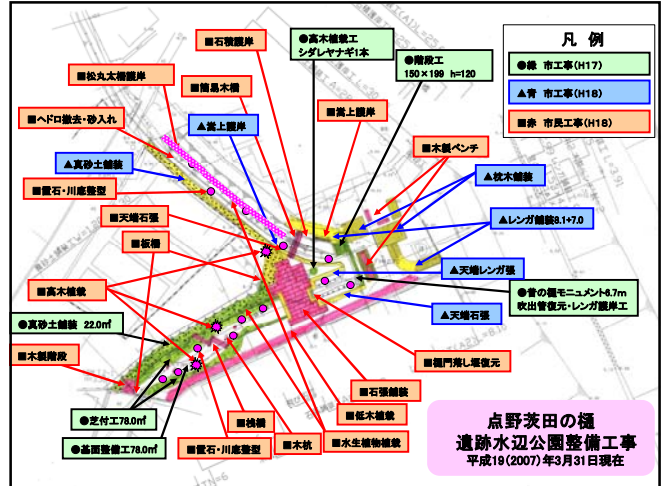
- ・ 委員、水辺クラブ
- ・ 地元住民・子供たち
- ・ 河川工学を学ぶ学生も

桂川上流域 日吉から

木津川源流 名張から

宇治川琵琶湖源流から(間伐材)

市民公共工事（土木作業）



茨田樋遺跡水辺公園の整備

完成年月日 平成19年2月20日（市発注工事）
平成19年4月26日（市民工事）

整備面積 580㎡

事業の推進体制 市発注工事および市民工事（市支給原材料および市民調達原材料による工事）で実施

市・発注工事 3,164,700円
平成17年度市・1期工事（川田建設）1,811,250円（平成18年1月25日～平成18年3月20日）
内訳：レンガ護岸工（樋吹出管復元）、水辺への階段工、真砂土舗装工（1期）、高木植栽工（1本）
平成18年度市・2期工事（川田建設）1,353,450円（平成18年10月19日～平成19年2月20日）
内訳：嵩上げ護岸工、レンガ舗装工、枕木舗装工、真砂土舗装工（2期）、レンガ強工（分水樋天端）、石強工（分水樋天端）、

市民工事 9,040,000円 着書（平成18年6月～平成19年4月）
内訳：丸木柵2架、杉丸木ベンチ4脚製作設置、飛石調遣設置、松植工、樋門製障扉（スライドゲート）製作設置、木製階段製作設置、自然石舗装工、置石工（石積、松丸木）、石強工（護岸天端）、植栽工（低木・高木・水辺の植物）、説明看板、銘板、遊案内板の作製・設置

原材料
● 桂川（日吉）、宇治川（比良山系・志賀）、木津川（名張）の淀川三川源流部及び後継川源流部（星田）で、市民自らが関係作業などをおこない、材木や川石を調達・運搬し、設備などに加工・製作し設置した施設
● 市民自らが市内で調達した原材料（間知石・竹など）及び市が支給した原材料（角材・敷石など）を使って加工・設置した施設

工事の延日数 及び、参加した市民の延人数 76日 627人 ※「国交省淀川連絡スロープ・階段設置工事」関連工事等は別途実施

総施工費 9,200,000円 着書		
市発注工事 3,164,700円	市民発注工事分 6,000,000円	
支給原材料 800,000円	市民工事 5,200,000円	

市民負担分 4,000,000円 経費節減分

市民が負担し、国交省に整備した隣接する淀川連絡のスロープ・階段工事約3000平方？ ※ 全工事に占める市負担1割弱。

川づくりは、川と人とのいい関係の再生から



ありがとうございました

淀川管内河川レンジャーアドバイザー・上田豪

川の再生は川と人との関係の再生から。これは実は、市民住民と河川管理者の関係の再構築からということです。河川法改正で、河川環境の再生と共に言われた住民意見の反映ですが、

かわづくりにおける、市民意見の反映は、

・計画・構想段階のワークショップ、実施設計段階や・工事段階のワークショップ、維持管理・活用のあり方のワークショップなどが考えられます。

・その中で、見落としがちなのが、実施設計段階や工事段階のワークショップです。思いが**反映されたか、なぜ反映できないか**、納得することができるからです。**納得が大事**。その納得が市民による河川管理にまでつながる可能性があるからです。私は、納得を自己決定と呼んでいます。「**自己決定がやる気を生む**」自分の意見の反映これが大事です。逆の言い方をすれば、**決定権限の住民・市民への配分**ということになります。(権限には責任が付き物ですが)

河川管理における市民参画は、こんな**市民の皆さんの参画意識を大事にすることが大切です。そこに意義があります。**こんな川づくりにおける、住民・市民と行政の関係がまた、まちづくりにも生きてきます。**わが川・わがまち意識**が高まり、町や地域が活性化します。

このように、

・いままで、行政の責任という名の下で結果として、市民を排除した形で、**行政だけで行っていた河川管理（計画・工事・維持管理）**であるからこそ、川づくりは、行政に丸投げの形で、**間違いや不十分な事象**があると、市民は「おかしいやないか」と、その**責任を追及**するか、私とは関係ないことと、任せて知らん顔するしかなかったのです。

これからは、そうではなしに、こういう川がいいな、などという川づくりの**提案や市民工事や維持管理活動のような労働提供**もいただく中で、**川を地域の財産として育てていく、**

そんな市民と川、市民と行政のあり方が求められています。

中流域左岸のこの事業が、そのモデル事業になればと期待しています。